

環境研究シンポジウムの開催

平成28年11月22日に一橋講堂（東京都千代田区）において第14回環境研究シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、環境研究の連携を密にすることを目的に13の国立研究開発法人等により設立された環境研究機関連絡会が主催したもので、今回は「レジリエントな社会・国土を創る環境研究」をテーマに口頭発表13件と環境研究に関するポスター発表約100件が行われました。

森林総合研究所では、シンポジウム冒頭に沢田治雄理事長が開会の挨拶をし、九州支所の黒川潮山地防災研究グループ長が「平成28年熊本地震で発生した山地災害」と題した口頭発表を行いました。また、ポスター発表も8件行いました。次回の環境研究シンポジウムは、平成29年11月22日に一橋講堂で開催されます。



黒川潮グループ長（九州支所）の講演の様子

アグリビジネス創出フェアに 出展

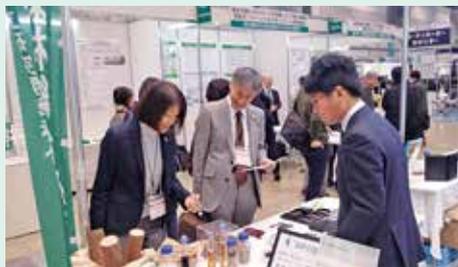
農林水産省主催の「アグリビジネス創出フェア2016」が、12月14日（水）から16日（金）まで東京ビッグサイトにおいて開催されました。

当所からは、「半炭化処理による木質舗装材」、「環境に優しい木製トレイ」、「早生樹コウヨウザンの特性」、「木材が人に与える生理的リラクセス効果」、「振動を用いた害虫防除」、「国産材によるセルロースナノファイバー」、「国産リグニン資源を用いた高付加価値材料」についてブース出展を行いました。

さらに、「マツノサイセンチュウ抵抗性クロマツ種苗生産の飛躍的向上」、「大規模崩壊発生時の緊急調査技術」、「木質系構造用面材料の開発による木造建築物への用途拡大」、「コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術」についてのセミナー発表も行いました。



セミナー発表の様子



森林総合研究所展示ブース

日本農学進歩賞受賞

当所の藤井一主任研究員（立地環境研究領域）と山浦悠一主任研究員（森林植生研究領域）が平成28年度第15回日本農学進歩賞（公益財団法人農学会主催）を受賞しました。この賞は、農林水産業およびその関連産業の発展に資するために、農学の進歩に顕著な貢献をした者を顕彰するもので、農学系の大学・研究機関から当年度11名が受賞し、2名の同時受賞は森林総研では初めてでした。

藤井主任研究員は「熱帯林土壌の酸性化メカニズムの解明と肥沃度回復技術への応用」に関する功績、山浦主任研究員は「生物多様性の保全・創出から見た森林管理の研究」に関する功績が評価されました。11月25日に東京大学農学部弥生講堂（東京都文京区）において授賞式および受賞者講演会が開催されました。



受賞者らの記念写真
（藤井主任研究員：後列左から2人目、山浦主任研究員：後列右から2人目）

公式フェイスブックページの開設

森林総合研究所は、当所の研究開発に関する情報を広く発信することを目的として、平成28年12月5日に公式フェイスブックページを開設しました。イベントや研究成果など随時紹介してまいりますので、皆様からのアクセスをお待ちしております。「いいね！」ボタンを押していただくと、今後の投稿記事も継続してご覧いただけます。

森林総合研究所公式フェイスブック

URL : <https://www.facebook.com/ffpri.jp>



森林総合研究所公式facebookページ

つくば科学フェスティバルに 出展

「つくば科学フェスティバル2016」が11月12日(土)～11月13日(日)につくばカピオ(つくば市竹園)で開催されました。つくば市内の小中学校、高校、大学、研究機関などが出展し、研究者や学校教職員と生徒による科学実験をはじめ、観察、工作、科学作品展など様々なコーナーが設けられました。この科学を楽しむ体験型イベントに、2日間で延べ16、266人の方が来場されました。

森林総研は「木の色と塗装のお話ーランプシェードを作るー」というテーマで出展しました。木の色、木を透した光の見え方、木の塗装や利用などについて説明するとともに、薄い木の板(経木)に絵の具を塗り、切ったり曲げたりしてランプシェードを作る体験をしていただきました。

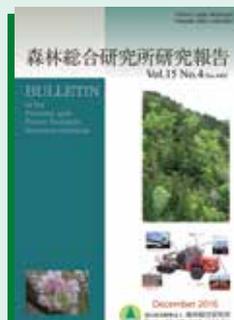


ランプシェードを作る体験の様子



ランプシェード

森林総合研究所 研究報告



Vol.15No.4 (通巻440号)
2016年12月
<https://www.affrc.go.jp/pubs/bulletin/>

論文

遠隔操作機能と自動走行機能によるフォワードの操作支援技術の開発
毛綱 昌弘、山口 浩和、伊藤 崇之、鈴木 秀典、千坂 修、高崎 綾信、草野 兼光、北原 成郎

Phanerochaete crassa WD1694株によるマンガンペルオキシダーゼ反応の組織化学的観察
高野 麻理子、服部 力

内閣府世論調査にみる木材生産に関する国民ニーズ
—長期推移と2000年代の特徴—
石崎 涼子

短報

降水時の気温で配分した雨雪別降水量の算定
竹内 由香里、遠藤 八十一、庭野 昭二
水溜まりが生じた生育基盤盛土の物理性
—海岸防災林再生事業初期に造成された盛土の事例—
篠宮 佳樹、今井 明宏、高梨 清美、坂本 知己

ノート

模擬実験を目的とした樹木からのDNA抽出方法の改良と実施
上野 真義、大谷 雅人、吉丸 博志